



【ご挨拶～サミットに寄せて～】

総社市で生まれた画聖雪舟。そのレジェンドの軌跡を通して渡辺市長と更に深くお付き合いが始まりました。対話を重ねる中で感じた壮大なスケール感と包容力。そんな渡辺市長を私は大好きで尊敬してやみません。平成30年7月、未曾有の豪雨で被災した総社市に多くの山口市職員を速攻で派遣してくださいました。山口市のお陰で総社市が救われたこと、生涯忘れることはあります。渡辺市長をリーダーに開催される今回のサミット。首長同士が友好を深め、更にそれぞれの市がチームワーク良く雪舟サミットで圏域を盛り上げていきたいと思います。



総社市長 片岡 聰一

【市の紹介】

総社市は、岡山県南西部に位置する人口約7万人のまちです。温暖な気候と市の中央を流れる高梁川の清流の恵みを受けた自然豊かなまちで、古代から吉備の国の中心として栄えてきました。日本遺産の構成文化財に認定された、古代山城の鬼ノ城をはじめ、全国有数の巨大な古墳や備中国分寺など当時の繁栄を物語る貴重な文化財、史跡が数多く残っています。

応永27年(1420)この地で雪舟さんは生まれました。井山宝福寺(井尻野)は雪舟さんが幼いころ修行し、有名な涙でねずみを描いた逸話を残した場所と言われ、禅宗独特の趣ある境内は四季折々に訪れる人を感動させてくれます。

また、雪舟生誕地である赤浜には、その業績を顕彰する石碑が立ち、地元の方々によって大切に守られてきました。そして、生誕600年の節目となる令和2年(2020年)に雪舟生誕地公園として開園し、新たな人の流れと交流のきっかけになってくれることを期待しています。ぜひ、お越しください。

【雪舟とのつながり】

雪舟は、応永27年(1420)に備中赤浜(現総社市赤浜)に生まれ、少年時代を総社市で過ごしました。その出世の地に立つ石碑は、緑豊かなこの赤浜の地で、地域住民から大切に守られてきました。雪舟生誕600年の節目となる令和2年(2020年)雪舟の功績を顕彰するとともに、訪れる方の憩いと交流の場になるよう、この地に雪舟生誕地公園を開園しました。

宝福寺は、雪舟が修行した寺として知られています。雪舟が流した涙で足の指を使ってネズミの絵を描いたという話は有名ですが、その舞台となった場所がこの宝福寺です。修行よりも好きな絵ばかりを描いていた雪舟をこらしめるために、和尚は雪舟を柱に縛りつけました。しばらくして和尚が縄を解きに行ってみると、自らの涙でネズミを描いた絵を見て和尚は感心し、以後雪舟に絵を描くことを許したといわれています。